



## 地域づくりの支え手入門講座 第1回



県内各地で地域課題に向き合う取組から、活動の成果や課題に学び、自らの地域活動につなげることをねらいとして開催しました。

基調講演では、コロナ禍の千代田区の取組を例に、地域課題に関心を向ける入り口から、担い手となっていくまでにはステップが必要なこと、そして地域や課題に関心をけるための場づくりと活動に寄り添う存在としての支え手の役割をお話いただきました。

パネルディスカッションでは各回コーディネーターより、地域の魅力と活動の実際について話をさせていただき、そのことに対して広石氏より取組のポイントについて意味づけしていただきました。

総括講演では、パネルディスカッションやグループワークによる振り返りを受けて、ありがたい未来を想像し、現状を変えていくポジティブな変化を生み出すための視点について学びました。

受講者：49名

### <研修内容>

【基調講演】「地域づくりの支え手の役割」

【総括講演】「地域にポジティブな変化を生み出すためには」

講師 (株)エンパブリック **広石拓司**氏

【パネルディスカッション】「支え手が語る、地域の魅力と活動」

パネリスト **広石拓司**氏

**島崎佳美**氏(栄村公民館) **安井啓子**氏(蚕都くらぶ・ま~ゆ)

**新美亮介**氏(伊那市社協) **宮田浩司**氏(飯田市南信濃公民館)



### <受講者アンケートから>

- 学び合いの場を地域の方と共に創り上げていく具体的なイメージを持つことができました。(公民館職員)
- 特に、総括の2つのアプローチが現状の自分には響きました。地域おこし協力隊のミッションもそうだし、卒隊後の仕事に関しても「地域の困りごとから」と課題探しになっていたことに気づきました。「愉しい」ことをやるためにこちらに来た初心を思い出しました。(市町村職員)
- 地域に無いものを探すのではなく、有る物を生かして価値を見出すことが、持続可能な地域づくりに大切なことだと思います。元気な地域というのは、「人が多い、お店が沢山ある」ということではなく、ポジティブ思想に溢れる地域なのだろうなあと思えました。(県・国職員)
- とても素晴らしいヒントをもらえた気がします。私の村もこうすればできるじゃないか…という案が浮かんできました。(一般)
- 各地域の取組みについて知る事ができ、実際に行ってもっと知りたい、話を聞いてみたいといった気持ちになりました。(社会福祉協議会)